

令和2年度日本気象学会東北支部気象研究会次第

日時：令和2年12月7日（月）10時30分～17時15分

仙台第3合同庁舎 2階大会議室

- I 開 会 仙台管区气象台 気象防災部 防災調査課長
- II 挨拶 仙台管区气象台長
- III 連絡事項 仙台管区气象台 気象防災部 防災調査課調査官
- IV 研究発表

10:30

発表持ち時間は1題16分です。時間を厳守願います。
第1予鈴が、10分で鳴ります。まとめに入ってください。
第2予鈴が、12分で鳴ります。発表を終了し、質疑応答に入ります。
終鈴が、16分で鳴ります。質疑応答は終了です。
※発表の際は、最初に調査の概要についてお話しください。

令和2年12月7日（月）

座長：仙台管区气象台 気象防災部 予報課長 永山 隆治（気象学会東北支部理事）

発表者所属	☆：発表者	発表予定時間
1 線状降水帯の高解像度理想実験	東北大学 ☆伊藤純至、津口裕茂（気象庁）、林修吾（気象研）、新野宏（東大AORI）	10:40～12:00
2 令和元年台風第19号による東北地方における顕著な降水システムの解析（その1）～総観場や降水の特徴及びステージごとのメソスケール解析～	仙台管区气象台 ☆梅田朋佳、田ノ下潤一、高橋未来	
3 令和元年台風第19号による東北地方における顕著な降水システムの解析（その2）～JMANHMによる解析～	仙台管区气象台 ☆高橋未来、田ノ下潤一、梅田朋佳	
4 2019年10月25日のCADに伴う千葉県の大雷雨の地形・境界層スキームに対する感度	東北大学 ☆小原涼太、岩崎俊樹、山崎剛、鈴木健斗（気象庁）	
5 2014年12月16日に発生した晴天乱気流事例のWRF-LESによる解析	東北大学 ☆吉村僚一、鈴木健斗、焼野藍子、大林茂、菊地亮太、伊藤純至	

【休憩】

12:00～13:15

座長：東北大学大学院理学研究科 教授 山崎 剛（気象学会東北支部理事）

発表者所属	☆：発表者	発表予定時間
6 機械学習を用いたひろだい白神レーダによる冬季降雪量推定	弘前大学 ☆谷田貝亜紀代、今井雅、前田未央	13:15～14:19
7 XバンドMPLレーダーを用いた発雷域の調査	盛岡地方气象台 氏家健太郎	
8 ノイズの正規分布を仮定しない独自ガイダンスの作成（第2報）	青森地方气象台 寺内俊平	
9 融雪予測手法の比較・検討	福島地方气象台 加茂祐一	

【休憩】

14:19～14:35

座長：仙台管区气象台 気象防災部 地球環境・海洋課長 深畑 純一

発表者所属	☆：発表者	発表予定時間
10 東北北部で梅雨明けが特定できなかった年の循環場の特徴	仙台管区气象台 池田友紀子、☆西村有真	14:35～15:23
11 北西太平洋におけるTropical Cycloneに伴う降水分布	弘前大学 坂下悠乃、谷田貝亜紀代、☆白川彩乃	
12 MJOに伴う海大陸西側における対流雲の変動	東北大学 ☆佐藤拓実、岩淵弘信	

【休憩】

15:23～15:39

座長：仙台管区气象台 気象防災部 気候変動・海洋情報調整官 上原 浩之

発表者所属	☆：発表者	発表予定時間
13 陸面過程モデルを用いた凍霜害の推定	東北大学 ☆岩波発彦、山崎剛	15:39～17:15
14 秋田県大潟村におけるダイズの生育と土壌水分・気象との関係	秋田県立大学 ☆伊勢貴之、井上誠、木口倫、佐藤孝、保田謙太郎	
15 気象庁非静力学モデルデータの農業利用に関する研究 ―陸面過程を用いた凍霜害の予測を目指して―	山形地方气象台 池田翔	
16 宮城県、東北地方における地球温暖化に伴う気候変化	東北大学 ☆山崎剛、諸岡浩子、岩崎俊樹	
17 生物季節観測の観測記録のまとめと考察	福島地方气象台 ☆阿部優大、金谷均	
18 秋田上空の気温と水蒸気量の経年変化	秋田地方气象台 松島実里	